

浜 監 査  
平成30年1月30日

## 平成29年度定期監査報告書

浜中町監査委員 串 田 明

浜中町監査委員 川 村 義 春

### 1 監査の範囲

平成29年4月1日から平成29年9月30日までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理

### 2 監査の方法

上記「1 監査の範囲」について、関係法令等及び予算に基づき適切に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員からの聞き取りにより実施した。

### 3 監査の期間

平成29年11月9日から平成29年11月30日まで（9日間）

### 4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、概ね適正に執行されているものと認める。

町長部局、各委員会部局、  
議会議務局等各係の監査内容（報告）

# 1 総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

## (1) 総務係

庁舎の維持管理ほか、文書の收受及び発送、補助指令 93 件（前年対比 6 件増）、条例・規則・訓令の公布 44 件（前年対比 57 件減）、告示 47 件（前年対比 8 件増）、自動車臨時運行許可（ナンバー交付）12 件（前年対比 5 件増）を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 102,174 千円に対し、調定額 13,653 千円、収入済額 13,523 千円で調定対比 99.0%である。歳出は、予算現額 114,322 千円に対し、支出済額 31,964 千円、執行率は 28.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 15 件 2,404 千円が支出済である。

## (2) 職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修等の職員に関することを分掌しており、健康管理としては、健康診断 147 人（2 次検診 25 人）、人間ドック 114 人の受診に関する管理を行い、職員研修では、税務事務（基礎）研修・管理能力研修などの自己研鑽研修への職員派遣、町主催で新規採用職員研修等を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 6,416 千円に対し、調定額 5,779 千円、収入済額 3,091 千円で、調定対比 53.5%である。歳出は、職員厚生に要する経費、職員研修に要する経費、給与費で予算現額 1,251,924 千円に対し、支出済額 597,346 千円、執行率 47.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 4 件 44,166 千円が支出済である。

## (3) 交通安全係

交通安全対策、町有車両の維持管理（37 台）、巡回バス・福祉バスに関することを主な業務としている。交通安全指導員（28 人）の出動状況は、7 件で昨年同時期より 2 件減、出動人員も延 59 人と昨年同時期より 37 人減となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,100 千円に対し、調定額・収入済額ともに 503 千円で、調定対比は 100.0%である。歳出は、予算現額 46,194 千円に対し、支出済額 13,115 千円、執行率 28.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町交通安全運動推進協議会運営費補助ほか 3 件 1,115 千円が支出済である。

## (4) 契約管財係

建設工事の契約及び検査、公有財産の取得、管理処分、備品の管理や公の集会施設維持管理に関する業務、公営住宅の建設計画、維持管理など財産関係の業務を主とし、詳細は次頁以降のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 68,849 千円、調定額 66,844 千円、収入済額 27,526 千円で、調定対比は 41.2%である。歳出は、予算現額 141,674 千円に対し、支出済額 31,513 千円、執行率 22.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、下水道事業受益者負担金 244 千円が支出済である。

●土地建物貸付関係

○土地（有償分）

・宅地	73 件 (前年対比 5 件増)	24,017.83 m <sup>2</sup> (前年対比 527.14 m <sup>2</sup> 増)	2,171 千円 (前年対比 132 千円増)
・干場	70 件 (増減なし)	86,518.25 m <sup>2</sup> (前年対比 470.6 m <sup>2</sup> 増)	1,350 千円 (前年対比 1 千円減)
・その他	116 件 (前年対比 7 件増)	182,324.45 m <sup>2</sup> (前年対比 2,772.66 m <sup>2</sup> 増)	3,380 千円 (前年対比 148 千円増)
計	259 件 (前年対比 12 件増)	292,860.53 m <sup>2</sup> (前年対比 3,770.4 m <sup>2</sup> 増)	6,901 千円 (前年対比 279 千円増)

○土地（無償貸付分）

	118 件 (前年対比 1 件増)	217,938.67 m <sup>2</sup> (前年対比 8.95 m <sup>2</sup> 増)
--	----------------------	---

○牧野

	5 件 (増減なし)	355,469.00 m <sup>2</sup> (前年対比 10,967 m <sup>2</sup> 減)	214 千円 (前年対比 4 千円減)
--	---------------	---	------------------------

○建物

	29 件 (前年対比 2 件増)	29 棟 (前年対比 2 棟増)	2,369 千円 (前年対比 40 千円増)
--	---------------------	---------------------	---------------------------

●土地借用関係

	39 件 (うち無償 17 件)	201,352.87 m <sup>2</sup> 153,304.10 m <sup>2</sup>	借地料 1,455 千円 (前年対比 48 千円増)
--	---------------------	--	-------------------------------

●財産の取得

○土地	5 件 (うち寄附 2 件)	3,104.09 m <sup>2</sup> 423.00 m <sup>2</sup>	取得金額 4,630 千円 (前年対比 4,630 千円増)
-----	-------------------	--	-----------------------------------

●財産の処分

○土石	岩石	31,385.3 m <sup>3</sup>	処分額 6,780 千円 (前年対比 6,780 千円増)
-----	----	-------------------------	----------------------------------

●職員住宅関係

木造住宅・ブロック造・軽量気泡コンクリートパネル造  
14 棟 45 戸

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか（共済責任額 7,675,626 千円） 分担金 1,938 千円

●町有施設保守管理委託状況

一般会計分として、消防用設備点検等（43 施設）3,294 千円、浄化槽保守点検（13 施設）814 千円、自家用電気工作物保安管理（15 施設）2,515 千円、暖房設備保守点検（17 施設）1,784 千円

円、地下タンク及び地下配管点検（13 施設）562 千円、排水再利用装置保守管理（4 施設）2,009 千円、昇降設備保守点検（2 施設）1,491 千円、煙道中の排ガス測定（5 施設）263 千円。これに浜中診療所特別会計分 4 施設 462 千円を合わせ、合計 116 施設分 13,194 千円である。

#### ●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 13 団地、棟数 51 棟、保有戸数 249 戸。入居は 193 戸で 56 戸が空家となっており、このうち 33 戸は入居不能（政策空家含む。）である。

なお、今後も町営住宅使用料の高額滞納に係る徴収等については、他の入居者との公平性を維持する視点からも政策的改善方法が必要だが、有用・不用問わず退居時に家具・電化製品等を残していく者が見られることから、町営住宅への入退居に関するルールを徹底した住宅管理マニュアルや入退居に関するチェックマニュアルの整備が急がれる。

#### ●公の集会施設利用状況

公の集会施設（26 施設）は、のべ 1,115 回 20,710 人に利用され、前年対比で利用回数は 26 回、利用人数は 2,804 人の減となっている。

なお、9 月 30 日現在の各種工事などの契約状況は次のとおりである。

工事区分	件 数	請負金額	対 比
土木工事関係	15 件（前年対比 7 件増）	132,635 千円	（前年対比 43,707 千円増）
建築工事関係	10 件（ " 6 件減）	293,295 千円	（ " 703,632 千円減）
委託事業関係	12 件（ " 2 件増）	94,090 千円	（ " 36,969 千円増）
合 計	37 件（前年対比 3 件増）	520,020 千円	（前年対比 622,956 千円減）
物品購入関係	9 件（前年対比 3 件増）	74,444 千円	（前年対比 94,573 千円減）

#### （5）情報管理係

OA 化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護に関することを分掌している。

情報公開・個人情報保護審議委員、情報公開・個人情報保護審査委員には、それぞれ 5 名を委嘱。管轄下の OA 機器の管理・更新等を行っている。マイナンバー制度の運用に伴うマイナポータル端末の窓口設置（町民係・茶内支所・浜中支所）やシステム改修への対応、e ラーニングによるマイナンバー制度に携わる職員を対象とした研修（受講者 29 人）も実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 695 千円に対し、調定額・収入済額ともに 244 千円で、調定対比 100.0% である。歳出では、電算システム運用に関する経費として予算現額 45,675 千円に対し、支出済額 27,739 千円、執行率 60.7% である。

また、繰越明許費の歳入予算現額は 482 千円で、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0% であり、歳出は予算現額 482 千円に対し、支出済額 0 円、執行率 0.0% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 3 件 22,208 千円が支出済である。

#### （6）庁舎建設準備係

今年度新設された係であり、係長 1 人主事 1 人で庁舎建設に関する業務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,000 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円で、調定対比 0.0%

となっており、歳出では、予算現額 193,414 千円に対し、支出済額 446 千円で、執行率 0.2%となっている。

## 2 選挙管理委員会

### 事務局

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

本年度は、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に関する事務を執行しているが、投票日が 10 月 22 日であったため、本定期監査の期日である平成 29 年 9 月 30 日現在の状況には反映がされていない。

予算執行状況は、歳入予算現額 8,380 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%。歳出は、予算現額 8,985 千円に対し、支出済額 393 千円、執行率は 4.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村選挙管理委員会連合会負担金ほか 2 件 44 千円が支出済である。

## 3 防災対策室

### 防災係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、消防に関することを主な業務としている。

本年度の津波防災避難訓練についても例年同様 5 月 24 日に実施し、574 人が参加している。昨年の参加者より 55 人の増となっているが、参加率は 16.9%と依然低迷しているため、今後も訓練内容の工夫・改善が必要と思われる。

また、8 月と 9 月には北朝鮮による弾道ミサイル発射に関する対応を行っていることから、津波や台風、暴風雪等の自然災害に関する防災だけでなく、ミサイル発射に関する防災対策についても対応の必要性を重視し、今後の町民に対する周知等の徹底が望まれる。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 398,348 千円に対し、支出済額 181,343 千円で、執行率 45.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか 1 件 141,500 千円が支出済である。

## 4 浜中支所

### 住民係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務であり、現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 1,131 千円、支出済額 405 千円、執行率 35.8%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税金	484 件		7,048 千円
証明手数料	406 件	29 件	177 千円
介護保険料	32 件		145 千円
後期高齢者医療保険料	21 件		175 千円
斎場使用料	1 件		30 千円
収入証紙	16 件		136 千円
水道・住宅料ほか	499 件		3,596 千円
合計	1,459 件	29 件	11,307 千円
	(前年対比 470 件減)	(前年対比 17 件増)	(前年対比 5,518 千円減)

## 5 茶内支所

### 住民係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務であり、現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、総務負担金として歳入予算現額 640 千円に対し、調定額 210 千円、収入済額 176 千円で、調定対比 83.8%となっており、歳出は、予算現額 6,597 千円に対し、支出済額 1,292 千円、執行率 19.6%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税金	956 件		20,427 千円
証明手数料	773 件	136 件	457 千円
介護保険料	37 件		203 千円
後期高齢者医療保険料	32 件		967 千円
斎場使用料	6 件		90 千円
コミュニティセンター使用料	8 件		254 千円
収入証紙	49 件		1,607 千円
水道・住宅料ほか	1,797 件		8,669 千円
合計	3,658 件	136 件	32,674 千円
	(前年対比 1,066 件減)	(前年対比 27 件増)	(前年対比 16,020 千円減)

## 6 町 民 課

町民課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 町 民 係

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、犯罪人名簿、旅券事務、外国人住民に関することに加え、人口動態、電子署名に係る地方公共団体の認証業務、個人番号の指定・通知、個人番号カードの交付等に関する業務を遂行している。

29年9月末現在の住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口6,000人(男2,953人・女3,047人)、世帯数2,494世帯となっており、前年対比で人口は117人減(男44人減、女73人減)、世帯数は3世帯の減となっている。

戸籍事務については、本庁で業務を一括して行い、各支所は証明書の交付のみ行っている。

各種証明の取り扱いは、全町で5,189件(うち無料分745件、前年対比34件増)、2,045千円(前年対比54千円減)である。

予算執行状況は、歳入予算現額4,435千円に対し、調定額・収入済額ともに1,493千円で、調定対比100.0%となっている。歳出は、予算現額6,569千円に対し、支出済額3,484千円、執行率53.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、戸籍事務共同運用負担金ほか2件2,676千円が支出済である。

### (2) 保険年金係

国民健康保険、後期高齢者医療、重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費、子ども医療費、国民年金に関する業務を行っている。

医療費の一部を助成することにより保健の向上に資するとともに福祉の増進を図ることを目的とした各種医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業93人(障39人、障老54人。前年対比53人の減は、重度心身障がい者医療制度と後期高齢者医療制度の重複により、重度心身障がい者医療の対象から却下となった者が生じたための減。)、ひとり親家庭等医療給付事業150人(前年対比7人減)、子ども医療給付事業838人(前年対比40人減)、浜中町精神障がい者医療費助成事業15人(前年対比増減なし)の合計1,096人(前年対比100人減)に対し、助成を行っている。

国民年金については、年金給付、資格得喪、免除申請等の各種申請の進達、日本年金機構釧路年金事務所等からの調査依頼への回答や定期的な福祉年金、障害年金に係る所得調査等を行っている。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額69,713千円に対し、調定額2,778千円、収入済額2,578千円で、調定対比92.8%であり、歳出は、予算現額202,747千円に対し、支出済額65,019千円、執行率32.1%となっている。

後期高齢者医療制度は、平成20年4月に創設され、対象は75歳以上の者と65歳から74歳で一定の障がいの状態のある者である。後期高齢者医療保険被保険者数は936人(うち75歳未満27人。全体数の前年対比15人増)である。

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は68,055千円であり、歳入では、調定額53,406千円、収入済額27,055千円で調定対比50.7%。歳出の支出済額は26,910千円で執行率39.5%となっ

ている。

国民健康保険に関しては、本年9月末現在で被保険者1,145世帯（前年対比59世帯減）2,647人（前年対比189人減）が加入しており、釧路市を除く釧路管内の町村では最も高い約44%の加入率となっている。

国民健康保険特別会計の歳入歳出予算総額は1,408,136千円であり、歳入予算の割合は、国民健康保険税28.2%、共同事業交付金28.2%、国庫支出金21.5%、道支出金5.9%、一般会計繰入金4.9%、前期高齢者交付金8.3%、前年度繰越金2.8%、療養給付費交付金ほかで0.2%となっている。歳出では、保険給付費が予算の51.4%を占め、以下共同事業拠出金27.2%、後期高齢者支援金10.5%、介護納付金4.9%、予備費2.6%、総務費2.0%、保健事業費ほかで1.4%である。

予算執行状況は、歳入では、調定額880,492千円、収入済額571,310千円で調定対比64.9%。歳出では、支出済額608,213千円で、執行率43.2%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道国民健康保険団体連合会負担金ほか2件757千円が支出済である。

なお、平成30年度からは国民健康保険の保険者が北海道となり、国民健康保険税の平準化が行われることから、国民健康保険特別会計で生じる繰越金については今後基金化を検討し、不測の事態に備えることが望ましいと考える。

### （3）生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営に関することを主な業務としている。4～9月末現在までの収入証紙売捌状況及び衛生センターの稼働状況、ごみ処理の状況に係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額41,430千円に対し、調定額19,208千円、収入済額16,479千円、調定対比85.8%となっており、歳出は、予算現額183,398千円に対し、支出済額76,333千円、執行率41.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、資源リサイクル活動奨励交付金ほか4件4,706千円が支出済である。

#### ●収入証紙売捌・衛生センター稼働・ごみ処理の状況（4～9月末）

##### ○収入証紙売捌状況

92,710枚、7,413千円（前年対比7,461枚増、412千円増）

##### ○衛生センター稼働状況

し尿処理量 936.8kℓ（前年対比82.3kℓ減）

浄化槽汚泥等処理量 452.9kℓ（前年対比23.1kℓ増）

##### ○ごみ処理状況

可燃・不燃等・直接搬入・収集ごみ 774.37t（前年対比98.20t減）

資源物 258.27t（前年対比6.48t減）

## 7 企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 企画調整係

「第5期浜中町新しいまちづくり総合計画」が8年目となった。実施計画は基本構想・基本計画を踏まえたローリングを実施することとなっており、次年度以降2カ年に関わる事業の積み残しや前倒し、追加などの精査を行っている。

また「浜中町創生総合戦略」では、浜中町人口ビジョンの人口推計等を踏まえ、施策の見直しを図り、第5期総合計画との整合性を勘案しつつ推進に努めている。

辺地計画と過疎計画については、財政上の特例措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け、除雪機械や農道の整備等に財源の有効活用を図るよう努めている。

平成30年度における町の重点施策実現のため、関係上級官庁や団体等に対し、北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望活動を実施している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助を行う「地域振興補助」事業は、5事業1,370千円の補助決定を行っている。

人づくり基金事業については、人づくり推進会議委員を14人委嘱し、7事業を採択している。

コミュニティ活動の支援事業として、自治会連合会・単位自治会等と連携し、環境美化運動の推進や花いっぱい運動、新生活運動の推進を行っている。加えて「コミュニティ助成事業」の取りまとめを行い、地域活動の活性化を図っており、今年度は仲の浜自治会が本事業を活用して地区会館の和机や物置等の備品購入を行い、2,500千円の助成が決定している。

今年度の各種統計調査は、5月に学校基本調査、6月に平成29年工業統計調査が実施されている。(本定期監査期日以降で10月に平成29年就業構造基本調査を実施。平成30年2月に平成30年住宅・土地統計調査単位区設定事務を実施予定。)

予算執行状況は、歳入予算現額12,921千円に対し、調定額310千円、収入済額256千円、調定対比82.6%である。歳出は、予算現額18,100千円に対し、支出済額3,775千円、執行率は20.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、一般コミュニティ事業助成金ほか7件1,312千円が支出済である。

### (2) 広報係

行政一般の周知、広報誌の発行、町ホームページ、町史編さん、広聴に関することなどを分掌しており、まちづくりの基本方針や計画、経過、結果等を広報し、行政としての説明責任を果たすとともに、町民との情報の共有化を図り、各種行事の周知や情報を広報誌やホームページによって広く町内外へ発信している。

広聴に関しては、ホームページを使った電子メールや町民との直接対話により、町民からの要望、意見、提言、情報の把握に努め、各課との調整による対応のほか、総務省から委嘱されている行政相談員との連携による行政相談を実施。新町史は、9月末までに町外価格の6千円で1件販売している。

予算執行状況は、歳入予算現額 10 千円に対し、調定額・収入済額ともに 6 千円で、調定対比 100.0% となっており、歳出は予算現額 3,654 千円に対し、支出済額 1,745 千円で、執行率は 47.8% である。

### (3) 財政係

予算の編成及び経理、支出命令、地方交付税、町債等を主な業務としている。本年度の起債予算計上額は 21 件で 1,656,561 千円である。この内、臨時財政対策債 166,561 千円が含まれている。28 年度との比較では、件数の増減はないが、予算計上額で 857,283 千円増となっており、学校給食センター整備事業に対する起債額で 726,400 千円増加していることが主な要因と考えられる。

地方交付税の交付決定額 3,110,031 千円に対し、9 月末での普通交付税 2,342,606 千円が収入済となっている。

なお、29 年度に関しては、財政力指数 3 ヶ年平均 19.5% (単年度 20.5%)、実質公債費比率 10.1%、将来負担比率 45.6%、経常収支比率 83.0%、地方債借入年度末残高 8,393,167 千円を見込んでいる。

### (4) 環境政策係

環境政策の企画調整及び調査研究、自然環境保全、地域エネルギーに関することなどを分掌している。環境政策として、再生可能エネルギー等導入支援対策事業補助の受付をしているが、今年度も前年同様 9 月末現在での申請はない。浜中町学校版環境 ISO については、小学校 4 校と中学校 3 校の合計 7 校を認定している。

自然環境の保全では、特定外来生物指定されているオオハンゴンソウの駆除を実施したほか、新たに町民から寄せられた目撃情報をもとに生息状況の調査を行い、今後の対策を検討している。また、エゾシカが「霧多布泥炭形成植物群落」に与える影響について、酪農学園大学に昨年度まで 3 ヶ年調査委託した結果、希少な植生の退行が危惧されるとの報告があったため、今後の植生保護の方向性や対策について協議を重ねている。

地域エネルギーに関することでは、風力発電による売電を実施しており、経営の長期的安定化が望まれるところである。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 596 千円、支出済額 75 千円、執行率は 12.6% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道再生可能エネルギー振興負担金として 50 千円が支出済となっている。

## 8 福祉保健課

福祉保健課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 福祉係

災害救助、児童・ひとり親家庭・心身障がい者、生活保護、高齢者福祉及び高齢者相談、在宅福祉サービス、地域生活支援事業ほか、主に社会福祉に関することを分掌している。

15 歳に到達後最初の年度末までが対象となる児童手当は、6 月支給分児童数が延べ 2,798 人 (前年対比 173 人減)、支払額 29,760 千円 (前年対比 2,680 千円減) である。生活保護の状況は、老人

28世帯(31人)、母子4世帯(11人)、傷病11世帯(18人)、障害6世帯(6人)施設入所7世帯(7人)、その他1世帯(1人)で、合計57世帯(被保護人数74人)、前年対比9世帯減(被保護人数10人減)である。放課後児童クラブでは、児童54人(霧多布25人、茶内29人。前年対比3人増)に対し5人(前年対比増減なし)の指導員を配置。4～9月末までの身体障害者手帳の交付状況は、新規交付6件、再交付1件、等級変更5件、住所変更3件、返還5件であり、手帳保有者は315人(うち重度障がい者数123人)前年対比21人減となっている。敬老週間事業では、8月末日現在満88歳の方40人(男22人、女18人)に3万円、満99歳の方1人(女1人)に5万円の敬老祝い金を贈呈。日常生活用具貸付事業では、日常生活用具(ベッド15台、マット15枚、車椅子12台、エアーマット1枚)の貸付、緊急通報装置の設置(貸付)35台を行っており、高齢者バス利用助成事業ではバス券324冊を交付している。

なお、9月末までに発生した海難事故2件に対する災害見舞金として40千円が支出済である。

また、自立支援ホームヘルプサービス事業(登録者22世帯)、外出支援サービス事業(登録者60世帯)については、浜中町社会福祉協議会に委託のうえ、登録者へ各サービスを提供している。

予算執行状況は、歳入予算現額231,179千円に対し、調定額123,021千円、収入済額120,950千円、調定対比98.3%となっており、歳出は、予算現額563,790千円に対し、支出済額277,370千円、執行率は49.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町社会福祉協議会補助ほか17件87,554千円が支出済である。

## (2) 健康推進係

町民の健康増進、母子保健及び成人保健、歯科指導及び栄養指導、感染症その他疾病の予防に関すること、地域包括支援センターに関することなどを分掌している。

成人対策では特定健康診査、各種がん健診を実施し、母子対策では乳幼児の各種健診や相談事業に加え、本年度より助産院マタニティアイに委託の上、産前産後サポート専門相談及び産前産後ケアを開始しており、専門相談利用実績延べ9件、産前ケア利用が3名、宿泊型の産後ケア利用は1人で延べ7回である。介護予防・日常生活支援総合事業においては、健康教室やハツラツ倶楽部わっはっはなどの介護予防教室に加え、第1号事業(介護予防訪問介護、介護予防通所介護)をしやきょう介護センターえぞふうろ、デイサービスセンターハイツ野いちごに委託の上、実施している。

その他感染症対策として予防接種事業の実施やエキノコックス症対策、広域救急医療対策としてティーベック株式会社委託の24時間電話相談可能な「浜中町健康・医療相談ダイヤル24」事業、栄養対策、歯科対策、地域包括支援センター事業としての総合相談など、広く町民の健康維持・増進などに関わる保健事業等を実施している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額45,850千円に対し、調定額14,638千円、収入済額14,314千円、調定対比97.8%となっており、歳出は、予算現額115,388千円に対し、支出済額58,145千円、執行率50.4%である。

国民健康保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額3,065千円に対し、調定額・収入済額ともに374千円で調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額5,574千円に対し、支出済額3,563千円、執行率は63.9%である。

また、介護保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額23千円に対し、調定額・収入済額ともに8千円で調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額19,077千円に

対し、支出済額 6,751 千円、執行率 35.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、厚岸郡広域救急医療体制負担金ほか 7 件 15,470 千円が支出済である。

### (3) 介護保険係

介護保険に関すること、ケアマネジメントセンターに関することを分掌している。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第 1 号被保険者が 156 人、第 2 号被保険者（40 歳～64 歳）が 6 人、合計 162 人（前年対比 16 人増）である。

介護度別人数は、要支援 1（10 人）、要支援 2（31 人）、要介護 1（56 人）、要介護 2（53 人）、要介護 3（43 人）、要介護 4（44 人）、要介護 5（30 人）の合計 267 人となっており、そのうち施設入所または居宅サービスの利用人数は 246 人（前年対比 3 人増）である。

介護保険料の収入状況は、調定額 83,137 千円に対し、収入済額 36,971 千円で、収納率は 44.5%となっており、前年対比 10.6%の減である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 5,228 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,777 千円で調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 69,649 千円に対し、支出済額 579 千円、執行率 0.8%である。

介護保険特別会計の歳入歳出予算総額は 451,687 千円であり、歳入予算現額 451,664 千円に対し、調定額 228,625 千円、収入済額 182,459 千円で調定対比 79.8%。歳出は、予算現額 432,610 千円に対し、支出済額 171,779 千円で執行率 39.7%となっている。（歳入歳出の予算現額は、健康推進係への配当分を除いた額で記載している。）

## 9 町立浜中診療所

### 総務係・医事係

町立浜中診療所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

歳入歳出予算総額 250,280 千円で、歳入予算の構成割合は、診療収入 33.4%、使用料及び手数料 3.3%、繰入金 57.4%、諸収入 0.3%、町債 5.6%となっており、診療収入の伸びは見られるが一般会計からの繰入金等（繰入金と町債で 63%を占めている。）が多く、経営上厳しい状況であることに変わりはない。歳出の予算構成割合では、総務費 89.0%（総務費の構成割合は、浜中診療所維持管理に要する経費 9.7%、浜中診療所運営に要する経費 90.3%。）、医業費 9.0%（医業費の構成割合は、医業に要する経費 80.0%、入院患者等寝具に要する経費 4.6%、入院患者等給食に要する経費 15.4%）、公債費 2.0%となっており、支出のうち大きな割合を占めるのは、医師報酬、職員給料等、医師雇上賃金で歳出予算の 74.8%となっている。

経営状況は、9 月末現在の診療収入が前年対比 2,684 千円増となっており、医業収益では、前年対比で患者数 260 人、金額で 1,163 千円の増が認められる。茶内診療所の休止に伴い、今後の患者増が期待されるところではあるが、人件費等に係る支出額の大きさは変わらない状況であるため、引き続き早期の経営改善策の検討や抜本的経営体制の見直しが必要であると思われる。

予算執行状況は、歳入では、調定額 41,559 千円に対し、収入済額 40,468 千円、調定対比 97.4%

となっており、歳出は、支出済額 123,153 千円、執行率 49.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか 3 件 142 千円が支出済である。

## 10 税 務 課

### 課 税 係・収 納 係

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

本年度の町税収納率は、9 月末で普通税の調定額 823,203 千円に対し、収入済額 451,475 千円で 54.8%、国保税は調定額 459,697 千円に対し、収入済額 150,520 千円で 32.7%の収納率となっており、前年対比では、普通税収納率 1.3%の減、国保税収納率 2.2%の増となっている。

なお、町民の利便性向上及び収納強化のため、本年度よりコンビニ・郵便局で納付可能な体制を整備、実施しており、町道民税・軽自動車税・固定資産税・国保税の合計調定額 1,376,809 千円に対し、645,758 千円の納付があったうち、収入対比 3.08%の 19,865 千円がコンビニ・郵便局から納付されている。次年度以降は税外金のコンビニ納付も計画されており、収納対策として有用な効果を発揮するよう今後町民への更なる周知を行うとともに、納付意識の向上に期待するものである。

また、町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自の収納困難な滞納事案を抽出し「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めている。

予算執行状況は、国有資産等所在市町村交付金及び納付金、道支出金の総務費委託金で歳入予算現額 9,304 千円に対し、調定額・収入済額ともに 4,828 千円で、調定対比 100.0%である。歳出では、税務総務費、賦課徴収費で予算現額 11,975 千円に対し、支出済額 4,137 千円、執行率 34.5%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金ほか 2 件 481 千円が支出済である。

## 11 出 納 室

### 出 納 係

現金の収入保管、支払及びその記録等については例月出納検査により立証されているため、その他の事務について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 770 千円、支出済額 127 千円で、執行率は 16.5%である。

## 12 建 設 課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

## (1) 土 木 係

道路全般の維持管理、河川に関すること、都市計画や地籍に関することなど、主に土木に関すること全般にわたる業務を行っている。

道路及び河川の占用許可数は、道路 87 件（前年対比 22 件増）、河川 63 件（前年対比 32 件増。63 件の内訳は土地 42 件、工作物 21 件）となっている。また、採石採取計画認可申請 1 件に対する道への回答を行っている。

工事執行状況は、土木工事など 8 件（前年対比 2 件増）で請負金額 74,466 千円（前年対比 19,342 千円増）、調査設計等委託業務 7 件（前年同数）、請負金額 72,040 千円（前年対比 7,905 千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 52,297 千円に対し、調定額 1,867 千円、収入済額 1,865 千円、調定対比 99.9%となっており、歳出は、予算現額 294,495 千円に対し、支出済額 42,827 千円、執行率 14.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道土木積算システム連絡協議会負担金ほか 2 件 284 千円が支出済である。

## (2) 建 築 係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、建築物の設計及び施行管理などの建築に関すること全般の業務を主に担当している。

建築確認申請 3 件（前年対比 2 件減）、建設リサイクル法に係る通知 25 件（前年対比 5 件増）を 9 月末までに受理・受付している。

工事執行状況は、建築工事など 7 件（前年対比 9 件減）で請負金額 192,780 千円（前年対比 870,351 千円減）、調査設計等委託業務 4 件（前年対比 3 件増）、請負金額 38,502 千円（前年対比 26,460 千円増）となっている。

29 年度の安心住まいの促進事業は、9 月末現在 21 件の申請があり、この事業に伴う金券発行額は 1,288 千円となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 500 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 5,162 千円に対し、支出済額 1,330 千円、執行率 25.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、既存住宅耐震改修費補助金（予算現額 600 千円）を予算化しているが、9 月末現在申込者はなく、それに伴う支出もない状況となっている。

## (3) 下水道係

主に下水道及び集落排水事業に関する業務を執行している。

下水道事業特別会計の歳入歳出予算総額は 424,537 千円であり、歳入では、調定額 37,612 千円、収入済額 32,452 千円、調定対比 86.3%。歳出の支出済額は 173,484 千円、執行率 40.9%となっている。

一般会計から下水道事業特別会計への繰出金として予算現額 317,848 千円が予算化されているが、9 月末現在で繰出しは行われていない。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 5 件 566 千円が支出済である。

## 13 商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 観 光 係

観光の振興、自然公園の保全と利用、湿原センターの管理運営委託、霧多布湿原学術研究支援制度に関することを主な業務としている。

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載ほか、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、くしろ圏観光キャンペーン推進協議会、釧路町・厚岸町・浜中町で形成される三町広域観光推進協議会へ参加協力しており、各種観光パンフレットや資料などの配布を行っている。

地域活性化を目指すルパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議によりルパン三世フェスティバルの開催やラッピングバス運行事業、ホームページの更新等を実施。加えて、観光協会主催事業の事務局と連携し、浜中うまいもん市、岬まつりを開催しており、9月17日の岬まつりは、ルパン三世フェスティバル（9月16日、17日開催）と今年度初めて同時開催している。

また、琵琶瀬展望台、霧多布岬展望台にて観光客の入り込み調査も行っており、調査の結果、観光客は322,602人（前年対比43,092人増）、宿泊客数延べ6,779人（前年対比834人増）となっている。

キャンプ場の利用状況では、有料であるバンガロー利用が934人、425棟（前年対比109人、56棟増）、休憩舎利用は228人、14件（前年対比153人、8件増）となっており、無料のテント利用は1,201張1,507人（前年対比203張、308人増）である。

なお、本年度は霧多布湿原学術研究支援制度による助成支援は行わず、平成6～28年度までの学術研究報告書118件のデータ化による整理を実施する。

予算執行状況は、歳入予算現額752千円に対し、調定額・収入済額ともに765千円で、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額68,330千円に対し、支出済額53,567千円、執行率78.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか14件41,905千円が支出済である。

### (2) 商工労働係

商工業の振興、商工団体、地場産品等の振興、中小企業、企業誘致、消費生活、計量器、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済に関することなどを分掌している。

商工業者の振興に資する商工機器等購入資金貸付事業では、4件5,860千円（前年対比2件、2,380千円増）の貸付を行っており、地場産品等の振興を目的として9月28日～30日までの3日間、さっぽろオータムフェスト2017「札幌大通ふるさと市場」に参加し、本町の商品宣伝を図っている。

中小企業者を対象とした特別融資制度を設け、原資40,000千円を大地みらい信用金庫に預託し、4～9月末までに3件34,400千円の融資を行っている。

労働業務としては、労働者の福祉・共済に向けた出稼ぎ手帳の交付、技能尊重運動及び事業内職業訓練等に関する業務を実施している。

なお、29年度新規事業である「過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業」の浜中町集落ネッ

トワーク圏活性化支援事業（浜中町大学生アンバサダー事業）に対し、19,999千円の補助を行っている。

また、商工業者の担い手確保に向け、本年度から開始した商工業後継者就業交付金事業による支援対象者として2人を承認している。

予算執行状況は、歳入予算現額 50,205 千円に対し、調定額 48 千円、収入済額 0 円で、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 100,574 千円に対し、支出済額 90,485 千円、執行率 90.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町商工会事業補助ほか 10 件 44,534 千円が支出済である。

### （3）ふれあい交流・保養センター係

主にセンターの管理運営、利用拡大に関する事、センターに付随する風力発電に関する事の事務を執行している。

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設であり、本年度は9月末現在で入浴者 29,580 人（前年対比 1,105 人増。営業日数 177 日、1 日平均 167 人）が利用している。入浴料収入（室料含む。）は、13,075 千円（前年対比 509 千円増）、売店等による収入は 7,393 千円（前年対比 266 千円増）となっており、入浴者数、各収入とも前年より増加している。

風力発電については、4～5月にかけて故障により停止していたが、9月末現在で 218,658kWh の発電量から余剰電力分の 151,250kWh、3,594 千円を売電している。

予算執行状況は、歳入予算現額 49,602 千円に対し、調定額 22,725 千円、収入済額 22,453 千円、調定対比 98.8%となっており、歳出は、予算現額 105,203 千円に対し、支出済額 40,335 千円、執行率 38.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、風力発電推進市町村全国協議会負担金ほか 2 件 26 千円が支出済である。

### （4）中山間活性化施設係

施設の管理運営、利用拡大に関する事を分掌している。

中産間活性化施設（M o - T T o かぜて）は、農・漁業の生産物に付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内の多くの女性団体や個人の利用のほか、青少年の農産物加工体験、各種講習会を開催している。9月末現在の利用者並びに来館者は 4,378 人（前年対比 834 人増）となっており、施設内の利用のほか敷地内のパドックを利用した乗馬体験やキャンプ場の活用を通じ、地域と都市の交流を図っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 440 千円に対し、調定額・収入済額ともに 430 千円で、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 12,016 千円に対し、支出済額 4,836 千円、執行率は 40.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路地方食品衛生協会ほか 2 件 17 千円が支出済である。

## 14 水 道 課

水道課は、水道事業会計は出納室同様、支払及びその記録等が例月出納検査により立証されてい

るため、一般会計部分の水道係の所管する関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

## 水 道 係

予算執行状況は、歳入予算現額 81,768 千円に対し、調定額 42,379 千円、収入済額 41,636 千円、調定対比 98.2%となっており、歳出は、予算現額 65,628 千円に対し、支出済額 27,895 千円、執行率 42.5%である。

○使用料納入状況	調 定 額	収入済額	収 入 率
農業用水	38,667 千円	38,571 千円	99.8%

## 15 議会事務局

### 議事係・庶務係

議会事務局各係について、提出資料に基づき説明を求め、関係書類の整理及び事務執行について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 57,499 千円に対し、支出済額 30,416 千円、執行率 52.9%となっており、主な支出は、議会議員に要する経費の報酬・手当 19,889 千円、共済費 7,867 千円、旅費 1,279 千円などで構成されている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村議会議長会負担金 401 千円が支出済である。

## 16 監査委員事務局

### 監 査 係

関係書類の整理及び事務執行、提出資料について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 2,340 千円に対し、支出済額 947 千円、執行率は 40.5%となっており、主な支出は監査委員報酬の 843 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村等監査委員協議会負担金として 22 千円が支出済である。

## 17 水 産 課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 港 湾 係

港湾に関すること全般、国土交通省港湾局所管に係る海岸保全に関することを業務としている。

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用料 19 件 905 千円（前年対比 7 件減、183 千円増）、物揚

場・岸壁使用料 217 件 158 千円（前年対比 38 件 111 千円減）、漁船捲揚施設使用料 52 件 1,704 千円（前年対比 3 件 919 千円減）、船揚場使用料 49 件 0 円（前年対比 12 件 3 千円減）となっており、合計は 337 件 2,767 千円（前年対比 60 件 850 千円減）である。

29 年度は霧多布港整備事業計画により、事業費 70,000 千円、町負担 15,450 千円で港湾施設用地（琵琶瀬湾）及び航路の整備を行い、霧多布港海岸における津波対策事業として、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、霧多布港海岸防潮堤嵩上改良実施設計委託業務を 17,520 千円の予算で実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 17,924 千円に対し、調定額 6,231 千円、収入済額 3,146 千円、調定対比 50.5%となっており、歳出は、予算現額 98,633 千円に対し、支出済額 11,671 千円、執行率 11.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道港湾協会負担金ほか 1 件 167 千円が支出済である。

## （2）漁 政 係

水産業関係団体、漁業制度資金、漁業の担い手確保、沿岸漁業の振興、水産物の流通加工及び衛生管理、船員法、漁港整備計画及び利用、海岸保全に関することのほか津波防災ステーションの管理運営に関する業務も執行している。

漁業機器等購入資金貸付事業では、浜中・散布の 2 漁協関係分を合わせ 5 件 6,680 千円（前年対比 1 件 5,140 千円減）の貸付を行い、その償還状況は、歳入予算現額 23,073 千円に対し、10 月上旬以降入金予定のため、9 月末現在では調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっている。

また、漁業の担い手確保に向け、本年度から開始した漁業後継者就業交付金事業による支援対象者として 7 人を承認し、道立漁業研修所総合研修受講補助として 1 人に支援を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 33,999 千円に対し、調定額・収入済額ともに 9 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 95,395 千円に対し、支出済額 24,230 千円、執行率 25.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、漁業近代化資金利子補給ほか 11 件 3,414 千円が出済である。

### ●登録漁船数、陸揚量、陸揚金額の状況等（港勢調査の概要（平成 27 年分）より）

対象漁港：散布、琵琶瀬、榊町、浜中（奔幌戸）、浜中（貫人） 5 漁港

登録漁船数 636 隻 陸揚量 6,809 t 陸揚金額 2,203,561 千円

（前年対比 3 隻減） （前年対比 153 t 減） （前年対比 35,183 千円減）

### ●漁業近代化資金利子補給承認状況

（単位：千円）

	浜中漁業協同組合		散布漁業協同組合		北海道信漁連		合 計	
	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額
1 号資金	11	33,330	1	1,300	-	-	12	34,630
2 号資金	4	12,610	4	11,700	-	-	8	24,310
3 号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
4 号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	15	45,940	5	13,000	0	0	20	58,940
前年対比	1	17,200	△ 3	△93,750	△ 1	△17,600	△ 3	△94,150

### (3) 水産振興係

水産業にかかる環境保全、栽培漁業、沿岸漁場の整備開発、水産業に係る試験研究の調整、漁業技術の改良普及、水産資源の管理に関することを業務としている。

29年度は新川船揚場整備事業として5ヵ年計画で整備改修を行うこととし、今年度は左側L=32.4mの工事を行うこととしている。栽培漁業であるウニの種苗確保、安定供給に向けた種苗生産センターの建設に向け、関係機関との協議を進めており、また、浜中漁協のカキ養殖事業に対し栄養塩60袋、散布漁協のチカ増殖事業に対しマブシ100枚の支援を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額15,770千円に対し、調定額・収入済額ともに0円、調定対比0.0%となっており、歳出は、予算現額89,803千円に対し、支出済額11,190千円、執行率12.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路昆布普及協議会負担金ほか8件8,534千円が支出済である。

## 18 保 育 所

### 保育業務係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

常設の霧多布保育所(定員140人)・茶内保育所(定員60人)は、定員200人に対して123人(前年対比2人増)の幼児が入所しており、霧多布保育所は53人(5歳児14人、4歳児12人、3歳児14人、2歳児4人、1歳児9人、0歳児0人)の幼児に対し保育士9人(前年対比増減なし)、栄養士1人、調理員2人の体制であり、茶内保育所は70人(5歳児14人、4歳児22人、3歳児17人、2歳児5人、1歳児8人、0歳児4人)の幼児に対し保育士10人(前年対比増減なし)、調理員2人で対応している。

このほか、子育て支援センターでは8月18日から9月17日までの1ヵ月間で延べ91人(前年対比延べ33人利用者減)の利用に対して保育士1人が対応しており、霧多布保育所にて実施している一時預かり保育では4～9月末までに利用登録15世帯、延べ117人に対し保育士1名が対応し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めている。

なお、両保育所とも避難訓練(霧多布6回、茶内3回)のほか、運動会や遠足など年次計画に基づき各行事を行っている。

へき地保育所の運営については、28年度末で茶内第一へき地保育所が閉所となったため、29年度は散布・浜中・姉別の3ヵ所を開設し、幼児数42人(前年対比8人減)に対して保育士7人(前年対比1人減)で保育にあたっている。

予算執行状況は、歳入予算現額56,413千円に対し、調定額37,072千円、収入済額27,401千円、調定対比73.9%となっており、歳出は、予算現額90,586千円に対し、支出済額26,731千円、執行率29.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内保育連合会負担金ほか1件73千円が支出済である。

## 19 農業委員会

### 農政係・農地係

農業委員会各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳入予算現額 6,066 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,149 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は予算現額 12,448 千円に対し、支出済額 5,553 千円、執行率 44.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか 1 件 273 千円が支出済である。

#### ●農地法許可関係

農地法第 3 条	(売買)	2 件	173,677 m <sup>2</sup>	(前年: 1 件 42,668 m <sup>2</sup> )
〃	(贈与)	1 件	85,546 m <sup>2</sup>	(前年: 2 件 1,141,163 m <sup>2</sup> )
〃	(賃貸借)	12 件	2,004,375 m <sup>2</sup>	(前年: 13 件 1,695,950 m <sup>2</sup> )
〃	(使用貸借)	1 件	675,252.36 m <sup>2</sup>	(前年: 3 件 2,305,635 m <sup>2</sup> )
農地法第 4 条	(農地転用)	3 件	18,189 m <sup>2</sup>	(前年: 該当なし)
農地法第 5 条	(農地転用)	1 件	2,000 m <sup>2</sup>	(前年: 2 件 17,510.50 m <sup>2</sup> )
●農地保有合理化事業 (売渡)		2 件	298,975 m <sup>2</sup>	(前年: 1 件 15,507 m <sup>2</sup> )
●農地中間管理事業 (賃貸借)		0 件	0 m <sup>2</sup>	(前年: 1 件 521,371.63 m <sup>2</sup> )
●農業経営基盤強化促進事業				
農地利用集積円滑化事業 (買入)		5 件	2,717,578 m <sup>2</sup>	(前年: 4 件 1,963,646 m <sup>2</sup> )
〃	(売渡)	0 件	0 m <sup>2</sup>	(前年: 2 件 179,272 m <sup>2</sup> )
〃	(賃貸借)	11 件	1,400,403 m <sup>2</sup>	(前年: 11 件 1,892,104 m <sup>2</sup> )
利用権設定等促進事業 (賃貸借)		11 件	1,274,383.07 m <sup>2</sup>	(前年: 1 件 230,574 m <sup>2</sup> )
〃	(利用権移転)	3 件	239,891 m <sup>2</sup>	(前年: 該当なし)

#### ●利用集積計画公告件数

公告内容	件数	面積
所有権移転	7 件	3,016,553 m <sup>2</sup>
賃貸借設定	22 件	2,674,786.07 m <sup>2</sup>
利用権移転	3 件	239,891 m <sup>2</sup>

#### ●農業者年金申請等の状況

裁定請求 (新制度)	4 件 (内訳: 老齢年金 3 件、特例付加年金 1 件)
〃 (旧制度)	1 件 (内訳: 経営移譲年金)
未支給年金請求	2 件
新規加入	2 件
その他届出	7 件 (内訳: 資格喪失 2 件、死亡届 1 件、住所・加入区分変更 4 件)

●農地所有適確法人数

11 法人（前年対比 1 法人増）

## 20 農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### （1）林 務 係

主に、町有林、民有林の経営指導、治山事業、鳥獣保護、自然保護、有害鳥獣の駆除に関する  
ことなどについて事務を執行している。

町有林整備事業では、造林、下刈、間伐、保育間伐、枝打、野鼠駆除などを 22,422 千円で実施し  
ている。

予算執行状況は、歳入予算現額 66,348 千円に対し、調定額 13,951 千円、収入済額 13,947 千円、  
調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 85,174 千円に対し、支出済額 28,727 千円、執行  
率 33.7%である。

また、林業専用道調査設計委託に係る歳出の繰越明許費は予算現額 8,500 千円に対し、支出済額  
8,088 千円、執行率 95.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道治山林道協会釧路支部負担金ほか 6 件 1,460 千円が支出  
済である。

### （2）農業振興係

農業の振興、農業基盤整備、農業農村整備に関することを分掌しており、農業の振興として中山  
間地域等直接支払交付金事業などに係る事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 356,269 千円に対し、調定額・収入済額ともに 7,493 千円、調定  
対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 444,205 千円に対し、支出済額 13,405 千円、執行率  
3.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道土地改良団体連合会負担金ほか 3 件 11,192 千円が支  
出済である。

### （3）農 政 係

農村生産団体、農業担い手、産業振興資金（家畜購入）、農業制度資金、家畜伝染病予防に関す  
ることなどを主な業務としている。

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 12,000 千円（前年同額）に対して現時点で申請はなく、貸付  
金の償還状況は、調定額 8,050 千円に対し、収入済額 0 円、収納率 0.0%である。

また、農業の担い手確保に向け、本年度から開始した農業後継者就業交付金事業による支援対象  
者として 3 人を承認している。

予算執行状況は、歳入予算現額 50,148 千円に対し、調定額 8,251 千円、収入済額 201 千円、調定  
対比 2.4%となっており、歳出は、予算現額 119,060 千円に対し、支出済額 11,334 千円、執行率 9.5%

である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、（有）浜中町就農者研修牧場運営費補助ほか8件10,558千円が支出済である。

## 21 教育委員会

教育委員会各課・係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### （1）管 理 課

#### 総務係・学校教育係・指導室

総務係は、主に教育委員会に関すること、事務局及びその他教育機関の職員の任免ほか人事、学校の設置・廃止、奨学資金、学校施設及び教職員住宅の管理、学校施設の使用許可などについての事務を執行し、学校教育係は教職員の人事、児童生徒の就学及び転入出、教職員・児童生徒の保健衛生福利及び厚生、通学区域、スクールバスの運行・管理及び委託、就学援助に関する事務を執行している。指導室は、学校教育に関する専門的事項の指導事務及び教職員の研修について分掌し、業務を遂行している。

予算執行状況は、歳入予算現額10,421千円に対し、調定額6,965千円、収入済額3,086千円、調定対比44.3%となっており、歳出は、予算現額281,517千円に対し、支出済額103,474千円、執行率36.8%で、主な支出済額は、学校用バス運行委託料ほか委託料26,076千円、学校配当ほか需用費20,073千円、臨時雇上賃金ほか賃金20,545千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか17件6,521千円が支出済である。

#### ●奨学金給付状況

大学生・短大生	8人（前年対比2人増）	月額	11,000円（前年対比1千円増）
専門学校生	3人（前年対比1人増）	月額	11,000円（　　　〃　　　）
高校生	21人（前年対比6人増）	月額	5,500円（前年対比500円増）
合　計	32人	年額	2,838千円（前年対比9人、978千円増）

※29年度より大学生・短大生、専門学生で1千円、高校生で500円単価を増額している。

#### ●教員住宅使用状況　小・中学校合計74戸（うち老朽戸数18戸）　調定額6,752千円

#### ●要保護及び準要保護児童生徒の状況

小学校	要保護3人、準要保護37人（前年対比	要保護4人減、準要保護4人減）
中学校	要保護3人、準要保護29人（前年対比	要保護増減なし、準要保護13人増）
合　計	要保護6人、準要保護66人（前年対比	要保護4人減、準要保護9人増）

### （2）生涯学習課・総合文化センター

#### ①社会教育係・総合文化センター係

社会教育係は、主に生涯学習の推進や社会教育に関することを分掌し、芸術文化の振興、文化財

の保存・活用に関すること、青少年教育や成人教育（女性、高齢者、家庭教育を含む。）に関する事務を執行しており、総合文化センター係は、芸術・文化活動の練習、発表の場及びレクリエーション等の利用、図書の貸出し等の事業、郷土資料等の活用及び保存に関する業務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 274 千円に対し、調定額 143 千円、収入済額 129 千円、調定対比 90.2%となっており、歳出は、予算現額 42,676 千円に対し、支出済額 22,920 千円、執行率 53.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町少年少女国内派遣事業負担金ほか 15 件 2,933 千円が支出済である。

●総合文化センター利用状況

利用件数 385 件、利用者数 17,390 人（前年対比 17 件増、3,516 人減）

●総合文化センター図書貸出

利用者数 830 人（夜間 48 人） 前年対比 149 人減（夜間 16 人減）

貸出冊数 2,602 冊（夜間 179 冊） 前年対比 312 冊減（夜間 80 冊減）

※ 読書活動のより一層の推進と町民が利用しやすい環境を整えることを目指し、毎週火曜日と木曜日の夜間開放（17：00～21：00）を継続して行っている。

②スポーツ係

社会体育施設に関すること、体育（スポーツ及びレクリエーション含む。）の普及ほか、体育振興及び指導に関する事務を執行しており、町内の関係団体と連携し、町民水泳大会や町民駅伝大会、小学生対象の水泳教室や陸上教室の開催等の事務も行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 478 千円に対し、調定額 433 千円、収入済額 413 千円、調定対比 95.4%となっており、歳出は、予算現額 57,251 千円に対し、支出済額 26,473 千円、執行率 46.2%である。主な支出済額は、各社会体育施設の燃料費ほか需用費 9,482 千円、施設管理賃金ほか賃金 6,354 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町体育協会補助ほか 7 件 3,438 千円が支出済である。なお、9 月末現在でスポーツ振興補助は 1 小学校、3 中学校、1 高校、1 団体から延べ 14 件の申請があり、1,557 千円を支出している。

●各施設利用状況

社会体育施設等名称		開館・開放 日数	利用者総数 (団体・個人含む延べ数)	前年対比
屋 内	浜中町総合体育館	151 日	7,315 人	455 人減
	農業者トレーニングセンター	151 日	2,621 人	11 人増
	浜中町民温水プール	127 日	4,858 人	259 人増
	すくらむ 2 1	151 日	1,682 人	37 人減
	(小 計)	-	16,476 人	222 人減

屋 外	総合グラウンド	134 日	811 人	520 人減
	霧多布スポーツ広場	134 日	1,352 人	219 人増
	農村運動公園	134 日	195 人	68 人増
	町民パークゴルフ場	133 日	2,619 人	31 人増
	(小 計)	-	4,977 人	202 人減
学 校 開 放 外	霧多布小学校	8 日	97 人	319 人減
	茶内第一小学校	4 日	114 人	29 人減
	霧多布中学校	6 日	41 人	32 人減
	西円地域体育館	25 日	465 人	54 人増
	(小 計)	43 日	717 人	326 人減
合 計		-	22,170 人	750 人減

### (3) 霧多布高等学校

#### 管 理 係

教職員に関すること、学校施設（校舎・グラウンド・教員住宅）の管理、入学料等の収納、物品の調達及び管理、スクールバスの管理運行に関することなどを分掌し、事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 13,540 千円に対し、調定額 13,734 千円、収入済額 1,584 千円、調定対比 11.5%となっており、歳出は、予算現額 54,156 千円に対し、支出済額 26,799 千円、執行率 49.5%である。主な支出は、学習支援員、管理人ほか賃金で 6,739 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、海外交流派遣負担金ほか 7 件 5,179 千円が支出済である。

### (4) 学校給食センター

#### 総務係・業務係

総務係では給食センターの管理運営、職員の衛生管理及び福利厚生、給食センターの防火・衛生管理などの事務を執行し、業務係は、給食物資の調達、給食の献立及び調理、供給配送など給食業務に関することを分掌している。

センターの運営については、調理員 8 人を臨時雇用し、年間 195 日を基準として給食の供給を実施している。9 月末現在の給食実施状況は、供給日数 103 日、56,516 食となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 73,984 千円に対し、調定額 73,750 千円、収入済額 111 千円、調定対比 0.2%となっており、歳出は、予算現額 900,418 千円に対し、支出済額 287,691 千円、執行率 32.0%である。主な支出済額は、学校給食センター改築工事に係る工事請負費 271,552 千円、調理人賃金ほか賃金 7,818 千円、燃料費ほか需用費 4,418 千円、配送車運行委託ほか各種設備等保守点検委託に係る委託料 2,621 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路管内学校給食研究協議会負担金ほか 1 件 20 千円が支出済である。